

## 保証書とアフターサービスについて

### 保証書について

この製品には保証書がついておりますので、お買い上げの販売店よりお受け取りください。お受け取りになった保証書は、記載内容及び「販売店、お買い上げ年月日」などの記入事項をお確かめのうえ、大切に保管してください。必要事項が記載されていない場合は、すぐにお買い上げの販売店にお申し出ください。保証期間はお買い上げ日より1年間です。

### アフターサービスについて

#### ●調子が悪いときは

修理を依頼される前に、この取扱説明書をよくご覧になり正しく使われているかお調べください。それでも調子が悪いときは、お買い上げの販売店、または弊社修理ご相談センターにご相談ください。

#### ●保証期間中は

保証書の記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。

#### ●保証期間が過ぎた場合は

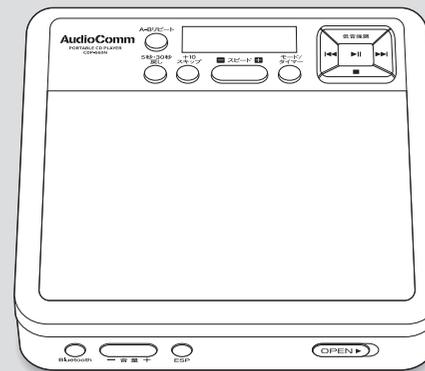
修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理させていただきます。お買い上げの販売店、または弊社修理ご相談センターにご相談ください。

AudioComm®

## Bluetooth機能付 語学学習用 ポータブルCDプレーヤー

## 取扱説明書

型番：CDP-560N 品番：03-7255



このたびは、AudioComm® Bluetooth機能付  
語学学習用ポータブルCDプレーヤーをお買い上げいただき、  
誠にありがとうございます。

本機の機能を十分に発揮させ、安全にお使いいただくためにも、ご使用前にこの取扱説明書を最後までお読みください。なお、お読みになられた後は、ご使用時にいつでも見られますよう大切に保管してください。

OHM 株式会社 オーム電機  
〒342-8502 埼玉県吉川市旭3-8  
<https://www.ohm-electric.co.jp>

修理に関するご相談は 修理ご相談センターへ  
電話受付 048-992-3970 平日 9:00~17:00  
※土曜・日曜・祝日及び年末年始は除きます

製品に関するお問い合わせは お客様相談室へ  
●通話料無料 ●携帯電話・IP・公衆電話からは  
0120-963-006 048-992-2735  
電話受付 平日 9:00~17:00  
※土曜・日曜・祝日及び年末年始は除きます

## 目次

免責事項	1
安全上のご注意	2~4
Bluetoothについて	5~6
CDについて	7
各部の名称	8
乾電池で使うときは	9
外部電源で使うときは	9
電源のオン・オフについて	10
イヤホンで聴くときは	10
外部アクティブスピーカー(別売)に有線接続して使うときは	10
Bluetooth接続で使うときは(ペアリングのしかた)	11
CDを再生する	12~16
CD再生の基本操作	12~13
シングルリピート・オールリピート・ランダム再生	14
5秒・30秒ワンタッチプレイバック	14
再生スピードコントロール	14
A-Bリピート	15
10ファイルダイレクトスキップ	15
タイマー	15
ホールド機能	16
低音強調	16
ESP機能	16
レジューム機能	16
故障かなと思ったら	17
お手入れのしかた	18
主な仕様	18
保証書とアフターサービスについて	裏表紙

## 免責事項

下記の事項につきましては弊社は一切の責任を負いかねます。

- 弊社の責任によらない製品の損傷や、破損、または改造による故障や不具合
- 本製品によって生じたデータの消失または破損
- 本製品のために費やした時間及び経費
- 本製品を運用した結果もたらされた損害
- 本製品によりもたらされた、直接的、間接的な効果及び利益の損失
- 本製品をご使用になって生じたあらゆる結果及び、直接的、間接的なシステム、機器及びその他の異常

## 安全上のご注意

電気製品は間違った使いかたをすると火災や感電による人身事故につながる可能性があります。このような事故を防ぐために、この取扱説明書をよくお読みになり、注意事項を必ずお守りください。注意事項は、取り扱いを誤った場合に予想される事故の大きさによって3段階で表示しています。

### 絵表示について

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使いいただき、お使いになる方や他の方への危害や財産への損害を未然に防止するためにいろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから、本文をお読みください。

	<b>危険</b> この表示を無視して誤った取り扱いをすると、火災、感電、破裂などにより死亡したり、大けがなどを負う可能性が想定される内容です。
	<b>警告</b> この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。
	<b>注意</b> この表示を無視して誤った取り扱いをすると、感電やその他の事故によりけがをしたり、周辺の家財に損害を与えたりする可能性が想定される内容です。

### 絵表示の使用例

	○記号は、禁止の行為であることを告げるものです。 左図の場合は「分解禁止」が描かれています。
	△記号は、注意(危険、警告を含む)を促す内容があることを告げるものです。 左図の場合は「感電注意」が描かれています。
	●記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。 左図の場合は「プラグをコンセントから抜く」が描かれています。

## 警告

 使用禁止	万一、煙が出ている、変なおいや音がするなどの異常を感じたら、すぐに電源を切り、乾電池を取り外す。外部電源で使用するときは、USB電源コードの端子を抜く ●そのまま使用すると、火災・感電の原因になります。煙が出なくなるのを確認して販売店または弊社お客様相談室までご連絡ください。	 乾電池に注意	乾電池を取り外した場合は、小さなお子様が乾電池を誤って飲み込むことがないようにする。万一、飲み込んだ場合は、ただちに医師に相談する ●乾電池は幼児の手の届かないところに保管してください。
	万一、内部に水や異物などが入った場合は、使用を中止する ●そのまま使用すると、火災・感電の原因になります。販売店または弊社お客様相談室までご連絡ください。		 分解禁止
		 22cm以上離す	心臓ペースメーカーを使っているときは装着部位から22cm以上離す ●電波によりペースメーカーの動作に影響を与えるおそれがあります。

## 警告

 接触禁止	雷が鳴りだしたら、本機やUSB電源コードに触れない ●感電の原因になります。	 禁止	ビックアップレンズを覗き込まない ●レーザー光が目当たると、視力障害を起こすことがあります。 
 水かけ禁止	本機を水のかかる場所や湿気のある場所を使わない ●感電や故障の原因になります。		本機やUSB電源コードの上に重いものをのせたり、USB電源コードの上に本機をのせない ●本機が破損したり、コードに傷がついて火災・感電の原因になります。
 禁止	本機の上に、例えば火のついたロウソクなど、火災の原因になるようなものを置かない 本機の上に花瓶などの水が入ったものを置かない ●火災・感電の原因になります。	 付属品を使う	外部電源で使うときは、必ず付属のUSB電源コードを使う。また、付属のUSB電源コードは絶対に他の製品には使用しない ●付属のUSB電源コードは本製品専用です。 ●製品の破損、もしくは火傷・発煙・火災の原因になる場合があります。
	自動車・船舶などの直流DC電源には接続しない ●製品の破損、もしくは火傷・発煙・火災の原因になります。		USB-ACアダプター(別売)は本機の規格に適合した製品を使う ●製品の破損、もしくは火傷・発煙・火災の原因になる場合があります。
	車やオートバイ、自転車などの運転中は使用しない ●交通事故の原因になります。また歩きながら使用するときも、他の交通の妨げにならないよう十分にご注意ください。	 適合品を使う	家庭用電源で使用するときは、すぐに手が届く位置にあるコンセントにUSB-ACアダプターを接続し、異常が発生した場合は速やかにUSB-ACアダプターをコンセントから抜く ●手が届きにくい場所にあると、異常があったときに対応が遅れるおそれがあります。 ●本機の電源を切っただけでは、完全に電力を遮断できません。
	航空機内や医療機器の近くで使わない ●電波の影響で誤作動の原因になるおそれがあります。	 接続場所を選ぶ	
	本機やUSB電源コードを、布団やテーブルクロス、カーテン、新聞紙などで覆わない ●熱がこもってケースが変形したり、火災の原因になることがあります。		

## 注意

 極性に注意	乾電池を入れるときは極性表示(プラス⊕とマイナス⊖の向き)に注意し、表示どおり正しく入れる ●乾電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因になります。	 禁止	ほごりの多い場所に置かない ●火災・感電の原因になることがあります。ディスクや乾電池の出し入れ時以外は、必ずCD扉及び電池ボックスカバーを閉じてください。
 指を挟まれないように注意	お子様やCD扉内に手を入れないように注意する ●けがの原因になることがあります。		ぐらついた台の上や傾いた場所など不安定な場所、振動の多いところに置かない ●落下による故障やけがの原因になることがあります。
 禁止	電磁波を発生させる機器(携帯電話、テレビ、モニターなど)に近づけない ●電磁波により互いの機器が干渉し、ノイズや混信の原因になります。		落としたり、本機に強いショックを与えたり、圧力をかけたりしない ●ディスクが傷ついたり、本機の故障・破損の原因になることがあります。

## 注意

 禁止	はじめから音量を上げすぎない ●突然大きな音が出て、聴覚に悪い影響を及ぼすおそれがあります。	 禁止	ビックアップレンズに触らない ●再生不良や故障の原因になることがあります。
	長時間、大音量で聴き続けけない ●周囲の迷惑になったり、聴覚に悪い影響を及ぼすおそれがあります。		窓を閉め切った自動車の中や直射日光が当たる場所など、異常に温度が高くなる場所に放置しない ●本機に悪い影響を与え、故障の原因になることがあります。
	指定以外の乾電池は使用しない。古い乾電池と新しい乾電池、種類の異なる乾電池を一緒に使わない ●乾電池の破裂・液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因になることがあります。	 取り外す	お手入れをするときや長期間本機を使わないときは、安全のため電源を切り、乾電池やUSB電源コードを取り外す ●感電や液もれの原因になることがあります。
	日本国以外では使用しない ●本製品は日本国内専用です。 ●日本国内で正規に販売された接続機器以外との接続による安全性は保証いたしかねます。 ●海外では国によって電波使用制限が異なるため、本製品を使用した場合、罰せられることがあります。	 掃除をする	家庭用コンセントにて使用しているときは、接続部を定期的に掃除する ●USB-ACアダプターのプラグとコンセントの間にほごりがたまると自然発火(トラッキング現象)を起こすことが知られています。年に数回、定期的に接続部のほごりを取り除いてください。梅雨期前が効果的です。

### 乾電池を安全にお使いいただくために

液もれ、発熱、破裂などの事故を防ぐために、以下のことをお守りください。

 警告	・火中への投入、加熱、分解をしない ・取り外した乾電池を幼児に触らせない ・ショートさせない ・直射日光や火などの過度の熱にさらさない	●万一、液もれしたら、液をよく拭き取ってください。また、液が皮膚や衣類に付着した場合はすぐに大量の水で洗い流してください。
 注意	・⊕⊖の表示どおりに入れる ・指定以外の乾電池を入れない ・使用推奨期限内の乾電池を使用する ・古い乾電池と新しい乾電池、マンガンとアルカリなど種類の異なる乾電池を一緒に入れない ・使い切った乾電池はすぐに取り出す ・しばらく使わないときは乾電池を取り外しておく	●万一、もれた液が目に入ったときは、失明の原因になるので、目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で十分に洗い、ただちに医師に相談してください。 ●使用済みの乾電池を廃棄する場合、自治体の条例などで決まりがあるときにはそれに従って廃棄してください。

## Bluetoothについて

Bluetoothは、比較的距離の短いデジタル機器間(最大約10m以内：Class2の場合)で通信を行なう無線技術です。ケーブル類で2つの機器をつなぐ必要がなく、手軽に音楽などを楽しむことができます。

### バージョンとプロファイル

本機はBluetooth標準規格 Ver.5.3(プロファイル：A2DP、AVRCP)に対応しています。ご使用にあたっては通信相手となるBluetooth機器も、同じプロファイルに対応している必要があります。

※すべてのBluetooth機器との接続・動作を保証したものではありません。

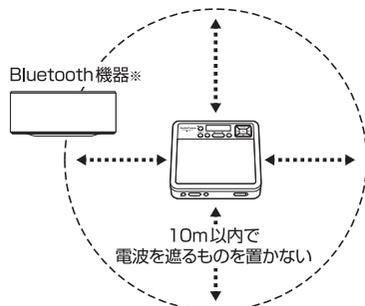
※同じプロファイルに対応していても、性能・機能が制限される場合があります。

### 通信可能範囲

本機の通信範囲は最大約10mですが、人体、壁、金属などの障害物や電波状態によって有効範囲が変化します。できるだけ障害物がない空間でご使用ください。

### セキュリティ

本機は標準規格に準拠したセキュリティ機能を有していますが、設定内容などによっては十分に対応できないおそれがあります。万一、情報漏洩などが発生しても、弊社は一切の責任を負いませんのでご了承ください。



※Bluetooth対応のスピーカー、イヤホン、ヘッドホンなど

### 機器認定について

本機は電波法にもとづく小電力データ通信システムの無線設備として認証を受けていますので、ご使用にあたって無線局の免許は必要ありません。ただし、本機を分解・改造する行為、本機に貼付または印刷されている定格銘板をはがしたり、消したりする行為は、法律により罰せられることがあります。本機は日本国内でのみ使用できます。



### 使用周波数と注意事項

本機の使用周波数帯(2.4GHz帯)では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局、特定小電力無線局、及びアマチュア無線局が運用されています。

- ご使用の前に、近くでこれらの無線局が運用されていないことを確認してください。
- 万一、移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉が発生した場合には、速やかに本機の電源を切ってください。そのうえで弊社お客様相談室(保証書参照)にご連絡いただき、混信回避のための処置についてご相談ください。
- そのほか、特定小電力無線局またはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉が発生した場合や不明点がありましたら、弊社お客様相談室までお問い合わせください。

### 医療機器近くで使用の際は、特に注意してください

- 使用中に気分が悪くなった場合は、ただちに使用を中止する。
- 植込み型心臓ペースメーカー、または植込み型除細動器を装着している場合は、装着部から本機を22cm以上離す(ペースメーカー及び除細動器の動作に影響を及ぼすおそれがあります)。
- 医療機器及び人命に直接的または間接的に関わるシステム、高い安全性や信頼性が求められる環境下では絶対に使わない。手術室、集中治療室(ICU)、冠状動脈疾患監視病室(CCU)には持ち込まない。
- 医療機関内で無線機器の使用を禁止された区域では、本機の電源を切る。ロビーなどでも、周囲に医療機器がある場所では電源を切る。
- 無線機器の使用が制限された区域では、医療機関による使用制限や使用禁止指示を必ず守る。使うときは、事前に施設管理者などに確認する。
- その他の場所で使うときでも、混雑している状況下では、十分注意する(周囲に植込み型心臓ペースメーカーや植込み型除細動器を使用している人がいる可能性があります)。
- 植込み型心臓ペースメーカーや植込み型除細動器を装着し、自宅などで療養中の場合は、使用前に、電波による影響について個別に医療機器メーカーなどに確認する(医療機器の動作に影響を与えるおそれがあります)。

## CDについて

### CD規格の注意事項

- ディスクに  のマークが入ったものをご使用ください。
- 本機はCD-DA(音楽CD)及びCD-R / CD-RW (MP3ディスク)の再生に対応していますが、以下の点をご注意ください。
  - ・CD-R / CD-RWディスク、レコーダー、書き込みソフトウェアの種類・状態によっては、再生できなかつたり、ノイズや音飛びが生じる場合があります。
  - ・ファイナライズ処理がなされていないディスクは再生できません。

- 現在発売されている「コピーコントロールCD」と呼ばれる著作権保護技術付音楽ディスクは、コンパクトディスク(CD)規格に準拠しない特殊ディスクであり、本製品における再生にあたっては、動作や音質の保証は致しかねます。音楽ディスクパッケージの表示をよくお読みください。
 

なお「コピーコントロールCD」の詳細に関しては、ディスクの発売元または販売元にお問い合わせくださいようお願い申し上げます。



### DualDiscについてのご注意

DualDiscとはDVD規格に準拠した映像用と音楽用のディスクを組み合わせた両面ディスクです。このDualDiscはコンパクトディスク(CD)規格には準拠していないため、本製品での再生は保証いたしません。

### ディスク使用上の注意点

再生中、ディスクはプレーヤー内で高速回転しています。ひびやそりのあるディスク、割れたり変形したディスク、テープや接着剤で補修したディスクなどは危険ですから絶対に使わないでください。

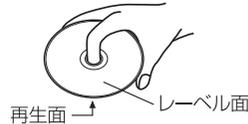


### 結露について

寒いところから急に暖かいところに移動させると、レンズに水滴がついたり、くもったりする結露現象が起こります。この状態で使用すると、正しく動作しないことがあります。このようなときはディスクを取り出して数時間放置してください。結露が取り除かれて正常に動作するようになります。

### ディスク取扱上の注意点

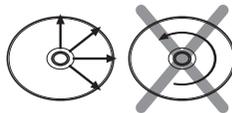
- ◆再生面に触れないように持ってください。



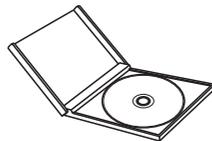
- ◆再生面はもちろん、レーベル面にも紙やテープなどを貼らないでください。



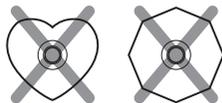
- ◆ディスクに指紋や汚れがついたときは、柔らかい布などで放射状に軽く拭き取ってください。



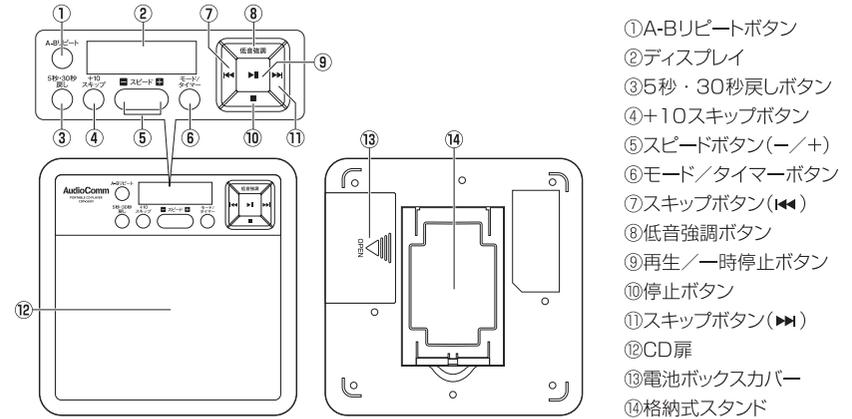
- ◆長い時間使用しないときは、ディスクを本機から取り出し、ケースに入れて保管してください。



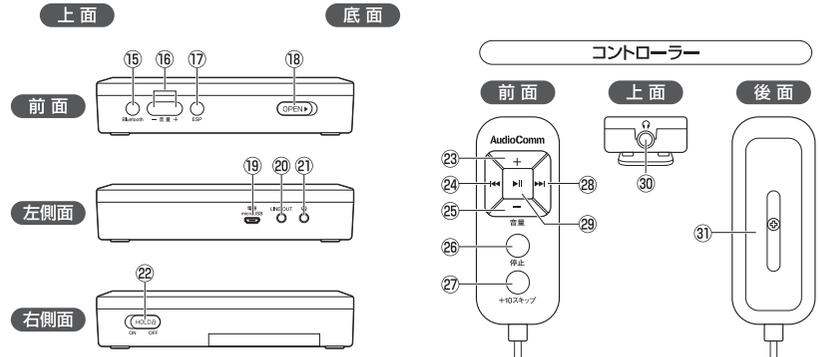
- ◆ハート型や八角形などの特殊形状のディスクは、使用しないでください。機器の故障の原因になります。



## 各部の名称



- ①A-Bリピートボタン
- ②ディスプレイ
- ③5秒・30秒戻しボタン
- ④+10スキップボタン
- ⑤スピードボタン(-/+)
- ⑥モード/タイマーボタン
- ⑦スキップボタン(⏪)
- ⑧低音強調ボタン
- ⑨再生/一時停止ボタン
- ⑩停止ボタン
- ⑪スキップボタン(⏩)
- ⑫CD扉
- ⑬電池ボックスカバー
- ⑭格納式スタンド

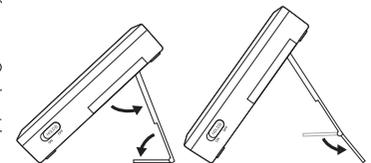


- ⑮Bluetoothボタン
- ⑯音量ボタン(-/+)
- ⑰ESPボタン
- ⑱CD扉開スイッチ
- ⑲microUSBポート(電源用)
- ⑳LINE OUT(音声出力)端子
- ㉑イヤホンジャック
- ㉒ホールドスイッチ
- ㉓音量ボタン(+)
- ㉔スキップボタン(⏪)
- ㉕音量ボタン(-)
- ㉖停止ボタン
- ㉗+10スキップボタン
- ㉘スキップボタン(⏩)
- ㉙再生/一時停止ボタン
- ㉚イヤホンジャック
- ㉛クリップ

### 格納式スタンドについて

本機背面の格納式スタンドを広げると、卓上に立てた状態で使うことができます。角度は2段階で調節できます。

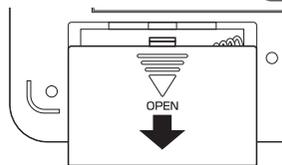
※スタンドを立てて使うときは、コントローラーで操作するか、本機に手を添えてボタンやスイッチを操作してください。操作時に滑って落下したり、スタンド部の破損、故障につながるおそれがあります。



## 乾電池で使うときは

- 1 電池ボックスカバーの▽部を押しながら、矢印の方向にスライドさせて取り外します。
- 2 単3形アルカリ乾電池×2本(別売)を、⊕⊖の向きに注意しながら図のとおり正しく入れます。
  - コイルばねのあるほうが⊖です。⊖側から先に入れてください。
- 3 電池ボックスカバーを元どおりにしっかりと閉めます。

底面



単3形アルカリ乾電池×2本(別売)

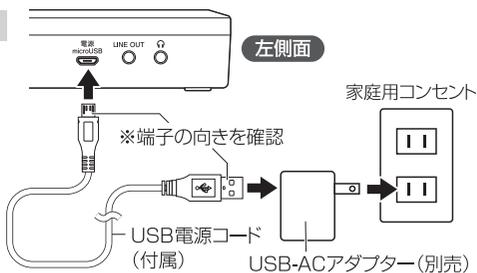


## 外部電源で使うときは

### 家庭用コンセントに接続する場合

USB-ACアダプター(別売)を介して、USB電源コードを家庭用コンセントに接続します。

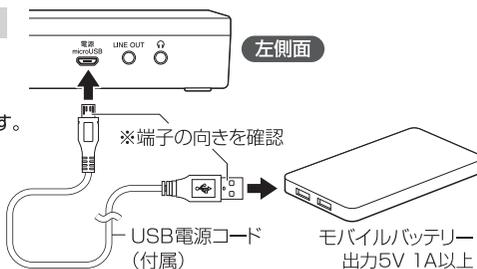
- USB-ACアダプター(別売)は5V 1A以上のものをお使いください。
- 乾電池で使用していた場合、自動的に電源が切り換わります。



### モバイルバッテリーに接続する場合

付属のUSB電源コードを使って、本機のmicroUSBポートとモバイルバッテリーのUSBポートを接続します。

- モバイルバッテリー側は出力5V 1A以上のUSBポートに接続してください。
- 乾電池で使用していた場合、自動的に電源が切り換わります。



- 付属のUSB電源コードは本製品専用です。本製品をご使用の際には必ず付属のUSB電源コードをお使いください。また、付属のUSB電源コードは絶対に他の製品には使用しないでください。製品の破損、もしくは火傷・発煙・火災の原因となる場合があります。

## 電源のオン・オフについて

**電源オン**…本機の再生/一時停止ボタンを押すと、電源が入ります。CDが正しく装着されているときは、読み込み動作の後、自動的に再生が始まります。

※コントローラーでは電源を入れることはできません。本機で操作してください。

**電源オフ**…本機またはコントローラーの停止ボタンを長押しすると電源が切れます。

**オートオフ機能**…停止状態が約3分間続くと、本機は節電のため自動的に電源が切れます。

## イヤホンで聴くときは

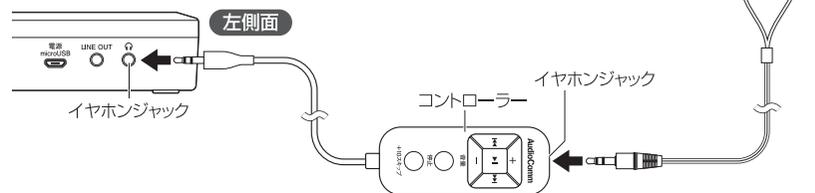
本機の電源が切れている状態で、

本機、コントローラー、ステレオイヤホンを下図のように接続してください。

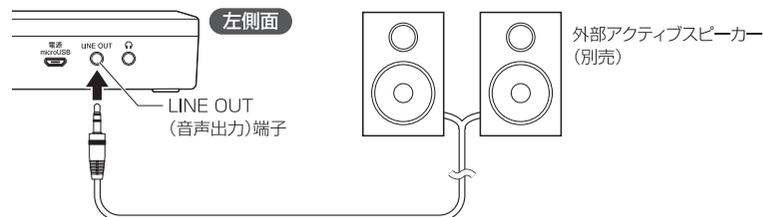
- プラグを抜き差しするときは、コードではなく、必ずプラグ本体を持って行ってください。断線や破損のおそれがあります。



ステレオイヤホン(付属)



## 外部アクティブスピーカー(別売)に有線接続して使うときは



本機の電源が切れている状態で、本機と外部アクティブスピーカー(別売)を上図のように接続してください。

- 外部アクティブスピーカーの端子規格が本機のLINE OUT(音声出力)端子と異なる場合は、適合する変換アダプター(別売)を使って接続してください。
- プラグを抜き差しするときは、コードではなく、必ずプラグ本体を持って行ってください。断線や破損のおそれがあります。

- 外部アクティブスピーカーと有線接続した場合、音量調節は外部アクティブスピーカー側で行ってください。本機の音量ボタン(-/+ )を操作するとディスプレイの音量レベル表示は上下しますが、出力自体は一定となります(音量設定が0の場合のみ消音となります)。
- 外部アクティブスピーカーに接続しているときは、イヤホンジャックから同時には出力できません。
- 「再生スピードコントロール」、「低音強調」は機能しませんのでご注意ください。

## Bluetooth接続で使うときは(ペアリングのしかた)

ペアリングとは、本機とBluetooth機器(相手側機器：Bluetooth対応のスピーカー、イヤホン、ヘッドホンなど)を相互に初期登録する操作のことです。

**Bluetooth機器と接続するときは、必ずペアリングしてください。**

- 相手側機器が他の機器とBluetooth接続中は、本機とのペアリングはできません。他機との接続を解除したうえでペアリングしてください。
- 本機と同時に接続できるのは、1つのBluetooth機器のみです。複数の登録済みBluetooth機器があり、Bluetooth接続しようとすると、最後に接続していた機器にペアリングされます(機種により異なる場合があります)。

### 1 手元に本機と相手側機器を用意します。

- 両機器の間には障害物を置かず、1m以内にしてください。
- 本機のLINE OUT(音声出力)端子にプラグが差し込まれているときは、Bluetooth接続ができませんので、取り外してください。

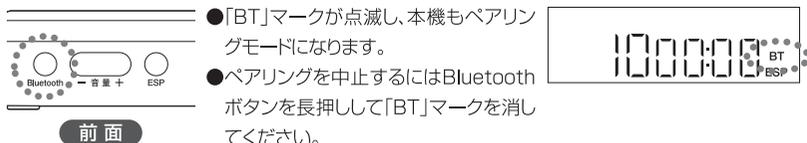


### 2 相手側機器の電源を入れ、相手側機器をペアリングモードにします。

- ペアリングモードとは、Bluetooth接続が可能な機器を検索している状態のことです。相手側機器に付属する取扱説明書などを参照して操作してください。

### 3 本機の電源を入れた後、Bluetoothボタンを押します。

- 「BT」マークが点滅し、本機もペアリングモードになります。
- ペアリングを中止するにはBluetoothボタンを長押しして「BT」マークを消してください。



### 4 ペアリングが完了すると、「BT」マークの点滅が点灯に変わります。

- ペアリングが完了しないまま約2分経つと、ペアリングモードがキャンセルされます。その場合はもう一度電源を入れ直し、Bluetoothボタンを押してください。

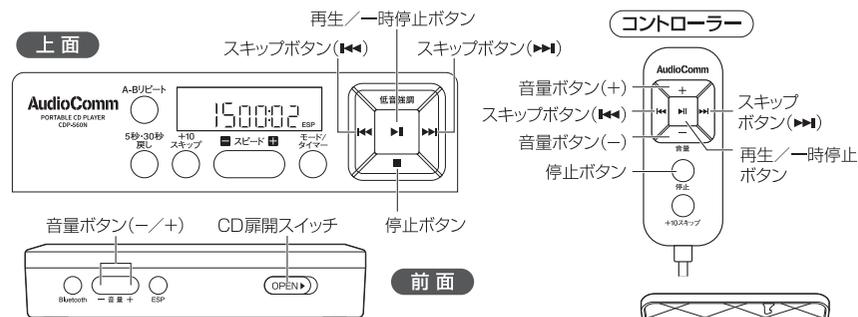
- 2回目以降に接続するときも上記と同様の操作でペアリングしてください。
- ペアリング後は、本機にて再生/一時停止、スキップ(ファイル選択)などの操作をしてください。一部の相手側機器では操作可能な場合もありますが、その内容は機器により異なります。
- Bluetooth接続中に、本機にてBluetooth接続を解除したいときは、Bluetoothボタンを長押ししてください(「BT」マークが消えます)。

## CDを再生する

本機では市販のCDなどのCD-DA形式の他に、MP3形式の音楽・音声ファイルを再生して楽しむことができますが、以下の制限がありますのでご注意ください。

- MP3形式以外の圧縮ファイルは再生できません。また、異なる形式のファイルが混在している場合も再生できません。
- 対応ビットレート：8~320kbps(VBR対応)
- DRM(著作権保護)付きファイルは再生できません。
- 本機で再生できる容量は最大99フォルダー、999ファイル、8階層までです。また、1フォルダー内の最大ファイル数は99(ファイル数+フォルダー数)です。
- 本機がMP3ファイルを読み込み、再生する順序は下記のとおりです。
  1. ルート階層から順に深い階層へ。
  2. 同じ階層に複数のファイル・フォルダーがある場合、ファイル名、フォルダー名の昇順に再生します(ただし、ディスクへの記録順やファイル名、フォルダー名により、異なる場合があります)。

### CD再生の基本操作



- 1 CD扉開スイッチを右にスライドさせてから指を離し、CD扉を開けます。

- 2 ディスクのレーベル面(印刷面)を上にして正しくセットした後、CD扉を手で閉めます。



- 3 再生/一時停止ボタンを押すと電源が入ります。

- 電源が入ると「60 SEC」に続いて「-」が点滅し、ディスクの読み込みが始まります。
- 読み込みが完了すると自動で再生が始まります。



- 読み込みには時間がかかることがあります。
- ディスクが入っていない場合や本機の規格に適合しないディスクを入れた場合、汚れ・破損・入れ間違い(表裏逆に装着)などにより読み込みが完了できない場合は、「disc」と表示されます。ディスクの有無や規格、状態を確認してください。

## CDを再生する(つづき)

### 4 音量ボタン(−/+ )で音量を調節します。

- ボタンの操作に合わせて、音量レベルが約3秒間表示されます。
- 音量の上げすぎにご注意ください。大きな音量で長時間聴き続けると、聴覚に悪い影響を及ぼすことがあります。
- 【コントローラー接続にてイヤホンで聴く場合】 本機及びコントローラーで音量調節が可能です。
- 【外部アクティブスピーカーに有線接続している場合】 外部アクティブスピーカー側で調節してください。本機では消音(音量設定0)以外の音量調節はできません。
- 【Bluetooth接続の場合】 本機及び相手側機器で、それぞれの出力レベルを調節できます。相手側機器に音量調節機能がない場合は、本機でのみ操作ができます。



### 5 再生中に再生/一時停止ボタンを押すと、一時停止します。

- 一時停止中は経過時間が点滅します。
- もう一度押すと再生を再開します。



### 6 再生を止めるには、停止ボタンを押します。

- 停止状態では右のようなディスプレイ表示になります。

CD-DAの表示例



MP3ディスクの表示例



### 7 停止ボタンを長押しすると、ディスプレイの表示が消え、電源が切れます。

- ディスク回転中にCD扉を開け、回転しているディスクを押さえて無理に停止させると、本機が故障したり、ディスク面に傷が付くおそれがあります。ディスクを取り出す際は、回転が完全に停止したことを確認してください。
- ディスクを取り出すときは、回転軸部を上から指で押さえながら、取り外してください。ディスクだけを無理に持ち上げると、本機やディスクが破損するおそれがあります。
- 使い終わった後は、必ず本機からディスクを取り出してケースに保管してください。また、ほこりや汚れから内部を保護するため、ディスクを取り出した後はCD扉を必ず閉めてください。

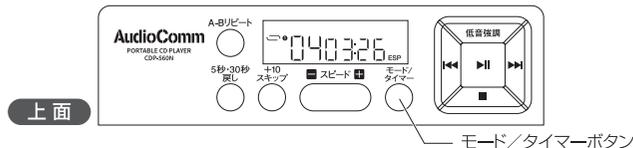
## 再生に関するボタン操作

ボタン	停止中に押す	再生中に押す	再生中に長押しする
スキップボタン (▶▶)	次のファイルを選択	次のファイルに移動して再生	聴いているファイルが早送りされます。指を離れた時点から再生を再開します。
スキップボタン (◀◀)	1つ前のファイルを選択	ファイルの頭に戻って再生。2回連続して押すと、1つ前のファイルに戻って再生します。以降、押すごとに前のファイルに戻って再生します。	聴いているファイルが早戻りされます。指を離れた時点から再生を再開します。
再生/一時停止ボタン	再生⇄一時停止		
停止ボタン	再生を停止		

※早送り、早戻し時は経過時間表示を見ながら操作してください。

## シングルリピート・オールリピート・ランダム再生

- モード/タイマーボタンを押すたびに、様々な再生方法を選ぶことができます。
- 再生中または一時停止中に操作してください。停止中は操作できません。
- 通常の再生に戻るには、表示マークが消えるまで、モード/タイマーボタンを数回押ししてください。

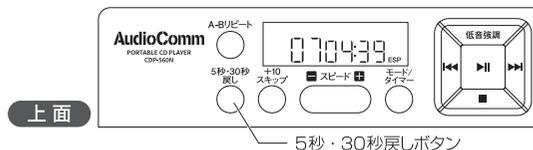


押す回数	再生モード	表示マーク
1回押す	シングルリピート：聴いているファイルを繰り返し再生	🔄 ①
2回押す	オールリピート：ディスク内のすべてのファイルを繰り返し再生	🔄
3回押す	ランダム再生：ディスク内のファイルをランダムに再生	🎲

ランダム再生は、聴いているファイルの再生が完了した後、次のファイルから始まります。

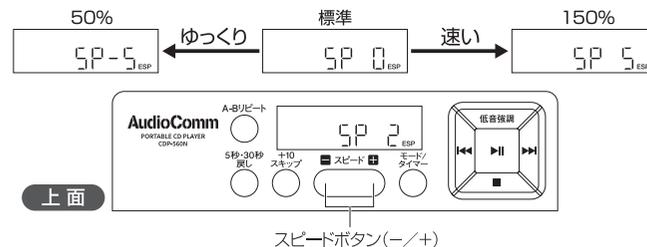
## 5秒・30秒ワンタッチプレイバック

- 再生中に5秒・30秒戻しボタンを短く押すと、5秒前に戻って再生します。
  - 再生中に5秒・30秒戻しボタンを長押しすると、30秒前に戻って再生します。
- ※再生までに時間がかかる場合があります。また、ファイルをまたいで5秒前(30秒前)に戻ることはできません。



## 再生スピードコントロール

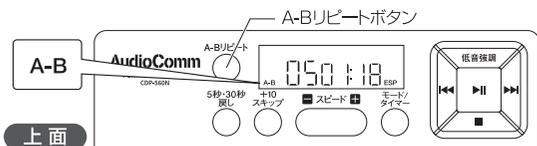
- スピードボタン(−/+ )を押すと、再生スピードを調節できます。
- スピードボタン(−)を押すとゆっくりになり、スピードボタン(+)を押すと速くなります。それぞれ5段階で調節できます。
- 電源を切ると設定がリセットされ、次に電源を入れたときは初期値の「0」に戻ります。



## CDを再生する(つづき)

### A-Bリピート

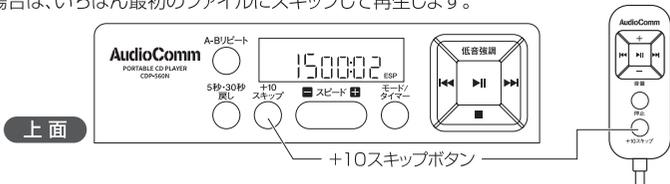
- 再生中のファイルの任意の部分をリピート再生することができます。
  - A-Bリピートを開始したいところでA-Bリピートボタンを押します(A-Bリピートマークが点滅します)。その後、A-Bリピートを終了したいところで、もう一度A-Bリピートボタンを押します(A-Bリピートマークが点滅から点灯に変わり、A-Bリピートが始まります)。
  - A-Bリピートを解除するには、A-Bリピート中にA-Bリピートボタンを長押ししてください。
- ※A-Bリピートが始まるまでに時間がかかる場合があります。また、ファイルをまたいだ設定はできません。



### 10 ファイルダイレクトスキップ

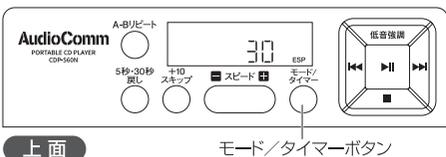
コントローラーでも操作できます。

- 再生中に+10スキップボタンを押すと、10ファイル先にスキップして再生します。一度に多くのファイルをスキップして、目的のファイルを再生したいときに便利です。
  - 一時停止中や停止中でも10ファイル先にスキップすることが可能です。その場合は、再生/一時停止ボタンを押して、再生を開始してください。
- ※再生までに時間がかかる場合があります。
- ※残りのファイル数が10ファイル未満の場合、最後のファイルにスキップします。また、最後のファイルを再生中の場合は、いちばん最初のファイルにスキップして再生します。



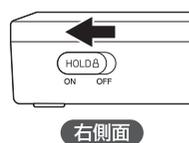
### タイマー

- 自動で電源が切れるまでの時間を設定することができます。
- タイマーを設定するには、ディスプレイに「00」が表示されるまでモード/タイマーボタンを長押しし、さらに数回押して、電源が切れるまでの時間を選んでください(10分~60分まで10分単位で設定できます)。その後、もう一度モード/タイマーボタンを長押しすると、タイマー設定時間と元の表示が数回交互点滅し、設定が完了して元の表示に戻ります。



- ※タイマー動作時にモード/タイマーボタンを長押しすると、ディスプレイに残り時間が表示されます。
- ※タイマー動作中を示す表示はありません。
- ※タイマー設定を解除するときは、電源を切るか、上記と同じ操作で「00」を選んでください。

### ホールド機能



- ホールドスイッチをONに合わせると、本機及びコントローラーのボタン操作ができなくなり(電源ONの操作のみ可能)、かばんに入れたときなどの誤動作を防ぐことができます。
- ホールド機能が有効なときはホールドマークが表示され、任意のボタンを押すと数秒間「HOLD」が点滅します。



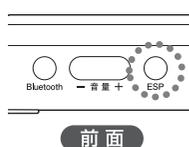
### 低音強調



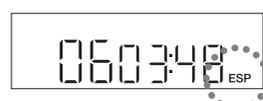
- 低音強調ボタンを押すと、低音が強調されます(BASS)が表示されます。
- もう一度押すと解除されます。



### ESP 機能



- 本機には自動的に音飛びを抑えるESP (Electronic Shock Protection) 機能があり、工場出荷時はオンに設定されています。ESP機能が有効なときは、ディスプレイに「ESP」マークが表示されます(データ蓄積中は「ESP」マークが点滅し、十分に蓄積されると点滅が止まります)。
- 再生当初はメモリーへの蓄積が十分でないため、ESP機能が十分に動かないことがあります。また、長時間振動が続いた場合(歩行中や動いている車内など)にも、一時的に音が途切れることがあります。
- ESP機能をオフにしたいとき、ESPボタンを押して、「ESP」マークを消してください。



### レジューム機能

- 本機にはレジューム機能があり、再生を停止して電源を切った後、再度電源を入れると、最後に停止した時点から再生が始まります。
- ※以下の場合レジューム機能がキャンセルされます。
- ・電源を切った後、違うディスクを入れた場合
  - ・再生停止後、さらに停止ボタンを1回以上押してから電源を切った場合

## 故障かなと思ったら

### ●全般

- 電源が入らない
- 乾電池が入っていますか。
  - 乾電池の向きは正しいですか。
  - 乾電池が消耗していませんか。
  - (USB電源コード使用時)本機のmicroUSBポートやモバイルバッテリーのUSBポート、USB-ACアダプター(別売)、家庭用コンセントなどが正しく接続されていますか(ゆるんでいませんか)。
  - (USBコード使用時)USBコードは付属のものを使っていますか。また、モバイルバッテリーやUSB-ACアダプター(別売)は本機の規格に合ったものをお使いですか。

- 再生が始まらない
- CD扉がしっかりと閉まっていますか。
  - 本機の規格に合わないディスクが入っていませんか。
  - ディスクが裏返しに入っていませんか。
  - レンズがひどく汚れていませんか。
  - 一時停止状態になっていませんか。
  - 結露していませんか。
  - ホールド機能が有効になっていませんか。

- CD-R / RWの再生ができない
- 収録したファイルは本機の規格に合ったファイル形式ですか。
  - 正しくファイナライズ処理したディスクをお使いですか。

- 音が出ない
- イヤホンのプラグがしっかりと差し込まれていますか。
  - 音量が最小になっていませんか。
  - (外部音声出力時)接続先スピーカーの音量が最小になっていませんか。

- 音飛びがする
- レンズが汚れていませんか。
  - ディスクに傷があったり、ひどく汚れていませんか。
  - 強い衝撃や振動のある場所で再生していませんか。

- 再生スピードが速い(遅い)
- スピードコントロールが標準(±0)以外に設定されていませんか。

- ボタン操作ができない
- ホールドスイッチが「ON」になっていませんか。

- 正常な表示や動作をしない
- 乾電池が消耗していませんか。

### ●Bluetooth接続時

- ペアリングできない
- 相手側機器の電源は入っていますか。
  - 相手側機器は本機のプロファイルに対応していますか。
  - 相手側機器との間に障害物があったり、双方の距離が離れすぎていませんか。
  - 相手側機器が他の機器と接続中ではありませんか。

- 音が出ない
- 本機または相手側機器の音量が最小になっていませんか。
  - LINE OUT(音声出力)端子にプラグが接続されていませんか。

- 音が途切れる
- 相手側機器との間に障害物があったり、双方の距離が離れすぎていませんか。
  - 電磁波を発する機器(電子レンジなど)や無線LAN環境の近くで使用していませんか。

## お手入れのしかた

お手入れの前に、必ず乾電池を取り外してください。外部電源でお使いのときはUSBコードを取り外してください。

### ●キャビネットのお手入れ

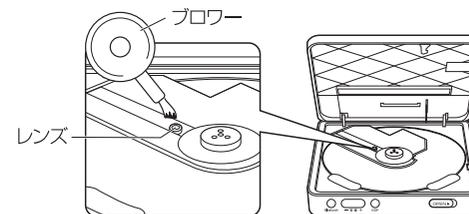
キャビネットの汚れは、柔らかい布でから拭きしてください。汚れがひどいときは、布をぬるま湯か薄めた中性洗剤で湿らせ軽く拭いた後、から拭きしてください。シンナー、ベンジン、アルコールなどは表面の仕上げを傷めますので、絶対に使用しないでください。



シンナー、ベンジン、アルコールなどは使用しない

### ●レンズ部のクリーニング

レンズの汚れは、音飛びなど正常な再生ができなくなる原因になります。CD扉を開け、市販のクリーニングキットのレンズ用ブローアを使って、ほこりやゴミなどをはき出してください。レンズに指紋などが付いている場合は、市販のレンズクリーナーをお使いください。



ブローア

レンズ

## 主な仕様

電源	DC3V 単3形アルカリ乾電池×2本(別売) 外部電源 DC5V 1A以上(USB給電: microUSB端子)
出力端子	イヤホン出力: φ3.5mmステレオミニジャック LINE OUT(音声出力): φ3.5mmステレオミニジャック
インピーダンス	イヤホン 32Ω LINE OUT 600Ω
実用最大出力	15mW+15mW(イヤホンジャック)
チャンネル数	2チャンネルステレオ
周波数特性	20Hz~20kHz
再生可能ディスク	CD、CD-R、CD-RW / CD-DA、MP3形式
Bluetooth	通信方式: Bluetooth標準規格 Ver.5.3 対応プロファイル: A2DP、AVRCP 最大通信距離: 見通し 約10m 出力: Class2 使用周波数帯域: 2.402GHz~2.480GHz
使用時間の目安	アルカリ乾電池新品使用 イヤホン出力時: 約8時間 Bluetooth出力時: 約4時間
ESP音飛び防止機能	CD-DA 約60秒 MP3 約120秒
外形寸法	幅140×高さ32×奥行140mm(突起物を除く)
質量	約312g(乾電池・付属品含まず)
付属品	ステレオイヤホン、コントローラー、USB電源コード、保証書、取扱説明書

※使用時間の目安は、JEITA(電子情報技術産業協会)規格による測定値です

※仕様及び外観は改善のため予告なく変更することがあります。

※Bluetooth及びBluetoothロゴマークは、Bluetooth SIG, INC.の商標で、当社はライセンスにもとづき使用しています。

※本書に記載しているシステム名、製品名は、一般に各社の商標または登録商標です。

※本書で使用している図版は実際の製品と一部異なる場合があります。